

火災時の避難

おさない

かけない

しゅべらなない

もどらなない

一酸化炭素(CO)の発生

無色・無臭 ⇒ 気付かない

酸欠状態 ⇒ 意識障害

必ず実行!

ハンカチ等で、
口や鼻をおおう。

- 1 テーマ 火災
- 2 ねらい 火災発生による集団避難を理解させる。
- 3 指導内容
 - ・集団避難における「おかしも」を確認する。
 - ・火災時における避難では、「煙を吸わないようにする」ことを確認する。

分	○生徒の学習活動	◇教師の働きかけ ・生徒の反応	◎留意点 ■評価
1	<p>○火災発生時の避難方法を想起する。</p> <p>○課題を知る。</p>	<p>◇「授業中に火災が発生したら、どのような避難行動をとりますか。」</p> <p>・逃げる。 ・正しい情報を得る。</p> <p>◇「今日は、火災が起きた時、集団での避難行動について確認します。」</p>	<p>◎これまでの火災発生時の避難訓練を思い出させる。</p>
3	<p>○「おかしも」を確認する。</p> <p>○「煙を吸わない」ことを確認する。</p>	<p>◇「では、火災が起きた時、集団避難では、『おかしも』が大切です。何か知っていますか。」</p> <p>◇「火災で避難するときには、煙を吸わないようにすることが大切です。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一酸化炭素(CO)は、無色無臭で、目にも見えず、臭いもないため、発生しても気づきにくい気体です。一酸化炭素を含んだ空気を吸うと、血液中の酸素濃度が低下し、脳細胞に酸素が供給できなくなって、酸欠状態になり、意識障害を引き起こし、最悪の場合は、死に至ることもあります。</p> </div>	<p>◎「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」の内容を説明する。また、「おかしも」は、東京消防庁で広報されていることも伝える。</p> <p>◎一酸化炭素中毒について説明する。</p>
1	<p>○学習をまとめる。</p>	<p>◇「これらのことを意識して、これまで集団による避難訓練ができていたか、振り返ってみましょう。」</p>	<p>■火災発生時の集団避難を理解している。</p>